

令和7年度 弥富市学校教育基本方針

弥富市教育委員会

弥富市教育委員会は、弥富市教育大綱及び第2次弥富市総合計画の「心豊かで文化を育む人づくりのまち」の実現に向けて、学校教育の充実、生涯学習の充実、スポーツの振興、文化・芸術の振興、青少年の健全育成に努めている。

複雑で予測困難な社会において、「受け身ではなく主体的に関わり合い、他者と協働しながら豊かな人生を切り拓き、未来の創り手となることができる力の育成」が求められている学校教育においては、弥富市民憲章や第2次総合計画の基本理念はもとより、学習指導要領の趣旨、愛知県教育委員会の示す「あいちの教育ビジョン2025」を踏まえ、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」からなる「生きる力」を育む特色ある教育の一層の充実、信頼される学校づくりを推進する必要がある。

平和教育や防災教育で自他の命の大切さを学んだ弥富市子どもたちが、将来にわたって学びに向かい続けるために、次の基本方針のもと、本年度の重点事項を設定する。各学校においては、このグランドデザインを踏まえ、校長の指導のもと具体的・実践的な方策を立て、すべての教職員が情熱と愛情をもってチームとして取り組むことを期待する。

1 弥富市の目指す教育

めざす児童生徒像を

「一人一人が輝き、よく学び 心豊かで たくましい 弥富の子～未来の創り手をここから～」

とし、児童生徒の「生きる力」の育成、それを支える学校の教育力の向上を図る。

○ 知・徳・体のバランスのとれた生きる力、児童生徒の将来に生きる力を育む。		
＜知＞ ・ 学ぶ意欲を高め、主体的に判断、行動できる確かな学力を養う。	＜徳＞ ・ 自他を大切にし、他者と共によりよく生きる豊かな心を育む。	＜体＞ ・ 心身ともに健康で、たくましく生きる力を養う。
○ 児童生徒の成長を支える環境、信頼される魅力ある学校づくりを推進する。		

2 基本方針

＜基本方針1＞ 信頼される魅力ある学校づくり（地域に愛される子ども・学校）

ア 開かれた学校づくり

地域の教育力の発掘と活用を通して特色ある学校づくりに努めるとともに、適切な学校評価の実施を行い、学校と家庭・地域の連携協力のもとで学校運営の改善に努める。また、各校の教育活動の取組を幅広く発信することで、学校教育に対する理解を促進し、協力体制の構築に努める。関係諸団体・機関および地域との連携を図る中で、地域で子どもを育てる一翼を学校が担う。

イ 安全安心な居場所づくり

学校と家庭・地域が一体となって防犯・防災・交通安全・衛生管理等における危機管理体制の充実を図り、児童生徒の安心安全な居場所としての学校づくりに努める。また、スクールガード等の地域の支援者との連携を大切にする。

ウ 幼・保・小・中の連携

「小・中」の連携においては、中学校区ごとの状況に応じて、生徒指導、道徳指導、学習指導等について、課題解決に向けた小中学校の連携を推進する。「幼・保・小」との連携においては、発達や学びの連続性を図っていく。さらに、関係諸機関・団体との連携、学校間における連携を密にし、児童生徒の健全育成に向けた取組を推進する。

エ 持続可能な教育活動の推進

持続可能な教育の質の向上を目指すために、教職員の業務量の適切な管理に努め、在校時間の縮減を図る。また部活動や行事の見直し、会議の精選、ICTの運用による学校事務の効率化等を進め、教職員の負担軽減を図る。さらに、効率的な働き方に対する教職員の意識の向上を図る。

児童生徒が様々な考え方に触れ、互いに学び合い、認め合い、協力し合い、切磋琢磨する中で学ぶことができる教育環境の推進に向けて策定した「弥富市小中学校未来構想」に基づき、「小学校再編整備方針」に沿って、小学校の整備を進める。

オ 教職員の力量向上

「弥富市学校生き生きプロジェクト」として、すべての子供たちにとって安全で安心な学校づくり・学級づくりを目指す。児童生徒のかかわる力を伸ばし、自尊感情や自己有用感の向上を図る取組「スリンプルプログラム」を実施する。推進校の取組を市内で共有し、市全体で取り組んでいく。また、ミドルリーダーを対象とした授業づくりに関する実践的な研修を実施し、校内現職教育等で還元することを通じて、教職員一人一人の力量向上を図る。

＜基本方針２＞ 知・徳・体のバランスのとれた生きる力の育成（結果を示す９年間）

（１）確かな学力の育成に向けて＜知育＞

ア 「主体的・対話的で深い学び」による教育活動の推進

学習指導要領の示す視点を機能させ、指導方法の工夫・改善を行い、知識や技能の習得に加え、思考力や判断力、表現力等を育み、主体的に学習に取り組む態度、協働的な学びを充実させる。

イ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

児童生徒が自己調整しながら学習を進めていくために、学習者の視点に立った指導方法や教材等の工夫、個々の学習目標に応じた学習の機会を提供する。また、探究的な学習や体験的活動を通じ、子ども同士あるいは多様な他者と協働しながら学習をする学びの実現に努める。

ウ 個に応じたきめ細かな学習指導による基礎学力の定着

ティーム・ティーチングや少人数指導などの指導体制、繰り返し学習や補充的な学習といった学習活動など、個に応じたきめ細かな学習指導を工夫改善し、基礎基本の確実な定着を図り、学力向上に努める。

エ ICT機器の有効活用

タブレットやデジタル教材等のICT機器を活用し、児童生徒の情報活用能力を育成する。学習活動の充実を図り、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指し、ICT機器の効果的な活用の推進を図る。

（２）豊かな心の育成にむけて＜徳育＞

ア 命を大切にし、互いの違いを認め尊重する教育の推進

学校教育活動全体、さらには学校と家庭と地域との連携を通じて、自他の生命を大切にする思いやりの心、自らのよさを発揮できる力、互いの違いを認め尊重する態度といった児童生徒の豊かな心を育成する。

イ 道徳教育の充実

「特別の教科 道徳」において、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としてよりよく生きていくための道徳的実践力の向上を図る。

ウ 共感的な生徒指導の推進

児童生徒との信頼関係の構築、児童生徒理解の深化に努め、一人一人の自己有用感や自己肯定感を高め、共感的な生徒指導を行う。日常における「発達支持的生徒指導」を通して、児童生徒が社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支えていく。いじめは、「どの子どもにもどの学校にも起こり得る」ものであることを十分認識し、各校のいじめ防止基本方針をもとに、未然防止・早期発見・早期解決に努める。いじめ重大事態において、校長のリーダーシップの下、平時からの備えに務める。ＱＵアンケートや学校生活アンケート、いじめアンケート等を実施し、児童生徒が抱える悩み等を早期に発見し対応する。

エ 成長や発達を支える相談体制の充実

スクールカウンセラー等との連携強化、スクールソーシャルワーカーの活用による児童生徒を取り巻く環境への働きかけ等、学校内外の相談体制の構築を図る。また、不登校児童生徒の教育相談や支援に向けて、教育支援センター「アクティブ」との連携を深める。

オ 一人一人に寄り添った教育的支援体制づくり

特別支援学級の児童生徒および通常学級在籍で特別な支援を要する児童生徒等、一人一人の教育ニーズを把握し、多様な学びの場の提供や適切な教育的支援を行う。特別支援教育指導員や教育相談コンダクター等による助言を通じて、校内の連携体制の充実を図る。また、特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒が学校生活を円滑に過ごすための適切な支援を行う。

(3) 健康な心身の育成にむけて<体育>

ア 健康な体づくりの推進

教育活動全体を通して、体力向上、健康の保持・増進のために、運動に親しむ習慣や基礎的な体力を身に付けさせる。生徒の自主的・自発的な活動によって行われる部活動を適正に実施し、心身の育成を図る。

イ 自校給食による食育の推進

自校方式の利点を生かして、栄養教諭等を中心に給食指導の充実と食育の指導を推進する。

ウ 家庭や地域との連携による健康な生活づくり

家庭との連携による基本的な生活習慣の確立、また学校保健委員会等における家庭・地域との意見交換等、地域ぐるみで健康な生活づくりに努める。

エ 心身両面からの支援による保健教育の充実

学級担任や養護教諭による健康観察をはじめ、あらゆる機会を通して児童生徒の心身の状況を的確に把握し、心身の問題の早期発見、早期対応に努める。

<基本方針3> 児童生徒の将来に生きる力の育成（未来につなぐ）

○ 学びに向かう教育の推進

各学校の特色ある取組を生かし、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、各学校における「カリキュラム・マネジメント」を工夫し、自ら学びに向かう教育を充実させ、将来に向け自己の可能性を伸ばす力を育成する。

○ 平和教育の推進

「広島研修（中学校2年生全員対象）」を実施し、実際に見たり聞いたりする体験を通して、世界恒久平和の実現に向けて貢献する意欲や実践的な態度を養う。また、道德教育、各教科、総合的な学習の時間および特別活動等との関連を図り、平和や命についての学びを多くの人へ発信する機会を設定することで、「平和を尊重する心」「自他の命を尊ぶ心」を多角的・系統的に育成する。

○ 防災教育の推進

過去に弥富市が経験した伊勢湾台風の教訓を風化させることなく、地域社会の一員として、「自助」「共助」の防災意識の向上を図る。地震や津波、台風、風水害など様々な自然災害を想定した避難訓練を地域や学校間で連携して実施し、災害発生時における危険について理解し、正しい備えと安全に行動できる力の育成とともに、自他の命を大切にする意識を高める。